

地域ブロック別の人口移動の状況（2013年）

○ 他の都道府県間での人口移動（転入者数から転出者数を差し引いた数）については、本県からの主な転出先は東京圏・関西といった大都市圏のほか、中国・四国へも多数転出。

○ 東・中・南予別でみると、以下のとおりとなっており、地方ごとで特徴がある。

（東予地方）

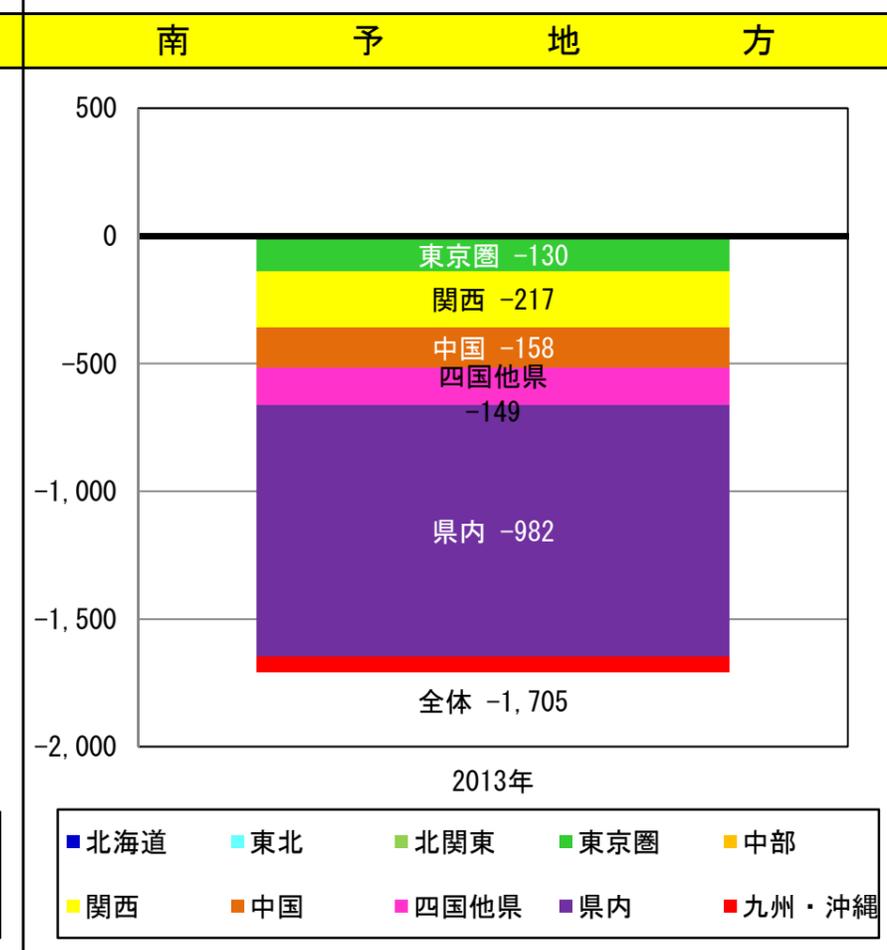
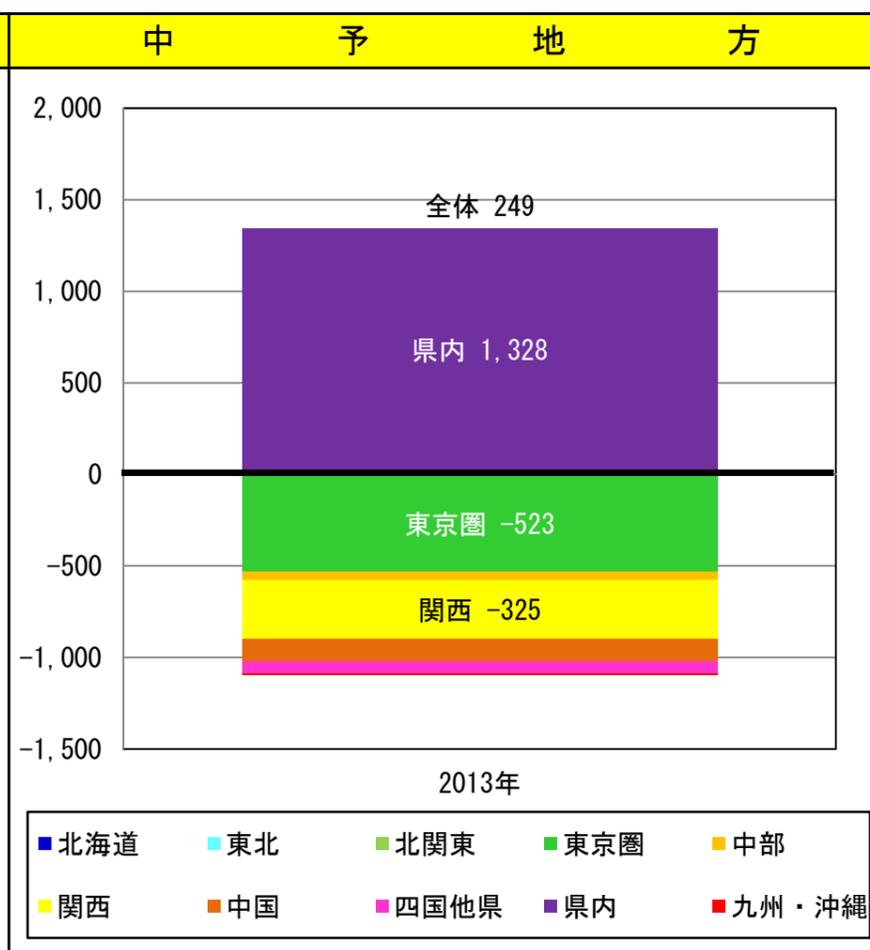
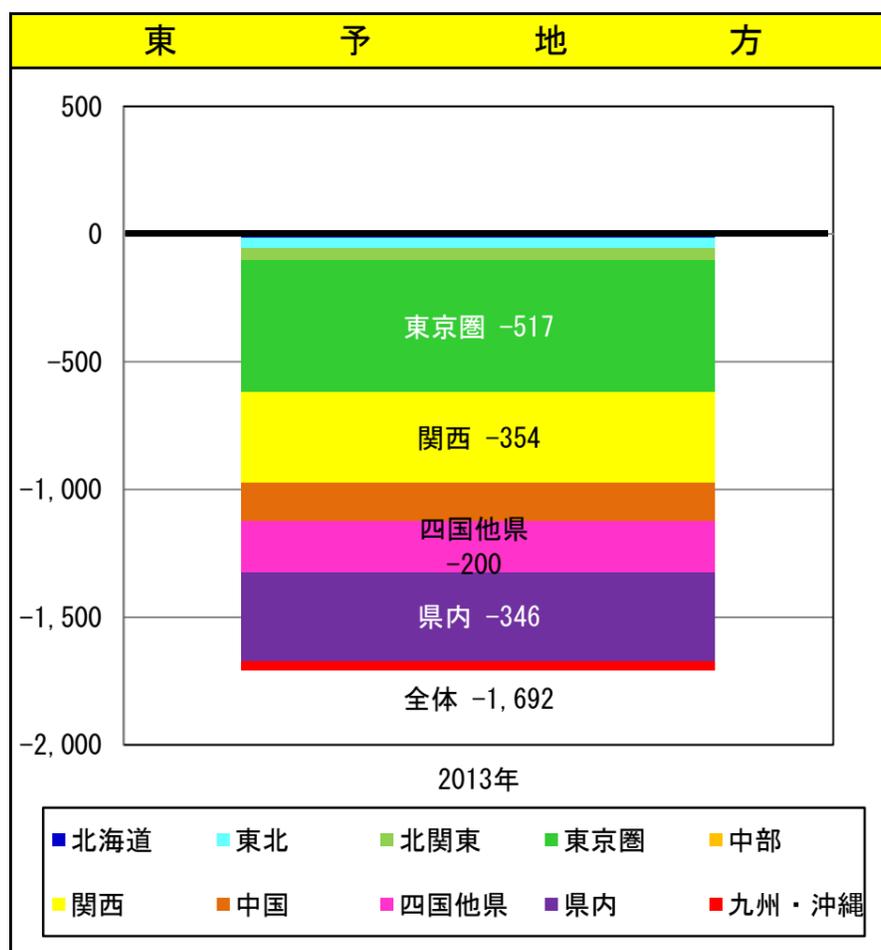
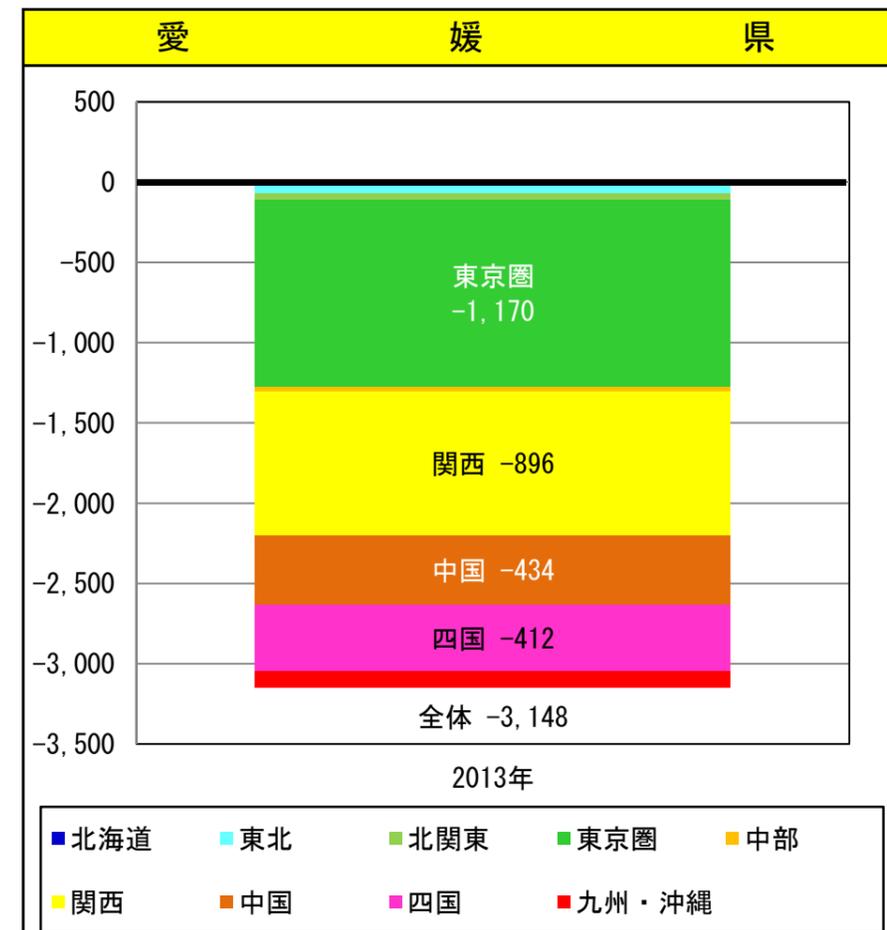
東京圏・関西への転出超過が大きいですが、県内（主に中予地方）への転出超過も全体の約2割程度を占めている。

（中予地方）

東京圏・関西への転出超過が大きいですが、それを上回る県内からの転入超過となっているため、人口増となっている。

（南予地方）

県内（主に中予地方）への転出超過が約6割を占めている。



注 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」